

清水大使、カウナス自由経済特区（FEZ）と先端電子工学企業 Elinta 社を訪問

1月21日、清水大使はリトアニア・カウナスにある自由経済特区（FEZ）および同特区内に拠点を置く電子工学企業 Elinta 社を訪問しました。カウナス FEZ は、リトアニア国内7か所の特区のひとつで、外国企業に対する優遇税制や充実したインフラ、人材環境が特徴です。Elinta 社は Elinta Robotics、Elinta Motors、elinvision を傘下に持つリトアニア有数のグループ企業で、ロボット生産ライン、自動車モーター や 3D 足形計測器などを手掛けています。

■カウナス FEZ の日本企業にとっての魅力

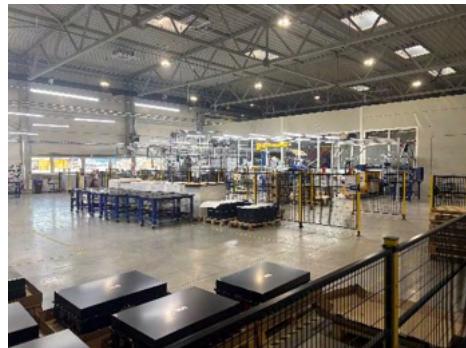
- ・税制優遇：製造業は100万ユーロ以上、サービス業は従業員20名以上かつ投資10万ユーロ以上で、最大10年間の法人税免除などの優遇措置が受けられます。
- ・交通・物流の利便性：首都ビリニュスとバルト三国最大港クライペダ港を結ぶ幹線道路、北欧～中欧を結ぶ高速鉄道 Rail Baltica の結節点に位置し、製品の国内外への流通が容易です。
- ・豊富な人材と产学連携：4万2,000人の大学・職業学校生のうち、58%が STEM 分野を学習。即戦力となる技術人材が豊富で、カウナス工科大学では企業ニーズに沿ったカリキュラムやインターンシップも展開されています。
- ・実績ある投資環境：2005年以降、68社が進出し9,500の雇用を創出。外国企業比率は70%で、欧州大手企業も参入しています。例として、フランスの物流大手 DPD 社、ドイツの自動車部品大手 Hella 社や Continental 社などが挙げられます。規制や法制度に柔軟性を持たせられる点も、投資環境の魅力です。

■Elinta 社訪問のハイライト

- ・FEZ 内に拠点を置く Elinta 社は、カウナス FEZ への初期投資企業。電気自動車エンジンの組立ラインやオートメーション生産ラインを視察しました。
- ・CEO はカウナス工科大学出身で、大学との連携を通じた高度人材の確保が強み。
- ・同社の3D 足形計測器は2020年東京オリンピック選手村で採用されるなど、先進技術の実用化事例が豊富です。

■まとめ

カウナス FEZ は、税制優遇・交通利便性・優秀な人材・先進技術企業の集積と、日本企業にとって魅力的な投資先であることが改めて示されました。カウナス FEZ への進出や投資に関心がある方は、ぜひご連絡ください。



(左：清水大使と Elinta 社ヨクジス CEO、右：Elinta 社の電気自動車エンジン組立てライン)